

平成 21 年度 後学期

お茶の水女子大学・アプリカ特設講座  
チャイルド ケア アンド エデュケーション  
～子ども幸せ学の探求～

科目等履修生募集要項

お茶の水女子大学

# I. 特設講座について

## 1. 講座の概要

### (設置)

○特設講座「チャイルド ケア アンド エデュケーション」は、アップリカ葛西株式会社(現アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社)の資金提供により、お茶の水女子大学とアップリカ葛西株式会社との協力によって設置されたものです。

### (目的)

○本講座は、現職にあつて保育に従事する人たちに、資質向上のための学習の機会を提供することを目的としています。

### (講座の対象)

○受講者は、原則として現職の保育者(保育所等に勤務する保育士・幼稚園に勤務する教諭)を対象とし、科目等履修生として受入れをします。ただし、子育て中の父母や、保育の勉強を希望する一般社会人も、定員に余裕があれば受講可能です。また、正規学生の受講を認めます。

○本講座は、保育に従事する人たちが、短期大学や専門学校で学ぶ機会のなかったより高度な保育領域(たとえば、「保育臨床演習」「乳幼児の発達と脳科学」など)や新しい研究成果を学ぶことに中心を置くものです。なお、資格取得を目的とするものではありません。

### (単位の認定)

○受講生は、お茶の水女子大学科目等履修生として登録され、どの科目も授業回数 15 回の内、3 分の 2 以上を出席し、さらにレポート等による評価に基づき合格した者に単位が認定されます。

### (学位授与機構)

○本講座で開設する授業科目の単位を修得するなどして、必要とする基礎資格と単位を満たせば、「大学評価・学位授与機構」によって「学士(教育学)」を取得することが可能となります。

### (大学院進学)

○必要単位を修得し、学士の学位を授与された者は、大学院の受験資格が得られることとなります。

## Ⅱ. 科目等履修生募集要項

### 1. 募集定員数

講義・演習・実習（ゼミ）によって30～10名とします。

- ① 科目単位で募集し複数科目受講することができます。
- ② 授業の形態には講義形式、演習形式、実習（ゼミ）形式があります。  
授業形態の別は、開講授業科目一覧の履修上の注意点1を参照してください。

### 2. 出願資格

当該特設講座の科目等履修生は、次の各号いずれかに該当する者とします。

- 一 保育士又は幼稚園教諭の資格を有する者
- 二 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者
- 三 その他本学において前2号に規定する者に準ずると認めるもの

### 3. 出願期間

《後学期受付》

◇ 平成21年 7月 27日（月）～ 8月 2日（日） 【消印有効】

**※ 後学期受付は、後学期開設科目のみの受講申込みになります。**

（出願書類提出先）

お茶の水女子大学 教務チーム

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

（TEL 03-5978-2723）

◆大学ホームページ <http://www.ocha.ac.jp/>

#### 4. 出願手続き・提出書類

出願は、次に掲げる該当する書類を指定の期日（締切日当日の消印有効）までに指定の封筒にて簡易書留で郵送してください。出願書類に不備がある場合は、受付できません。

出願書類		資格	○：提出書類		保育士及び幼稚園教諭の資格を有しない者
			保育士又は幼稚園教諭の資格を有する者	現職者注1)	
1	入学願書	別紙様式 注2)	○	○	○
2	在職証明書	勤務先所属長が作成したもの。様式は任意。	○		
3	資格を証明するもの	保育士の資格を有していることを証明するものの写し、又は幼稚園教諭免許状取得証明書若しくは同免許状の写し		○	
4	卒業証明書	最終出身校の長が作成したもの 注3) ※本学卒業者は不要			○
5	健康診断書	別紙様式	注4)	○	○
6	志望理由書	別紙様式 注5)	○	○	○
7	検定料	9,800円 注6)	○	○	○

注1) 現職者とは、保育士若しくは幼稚園教諭として関係機関に勤務している者。

注2) 写真は、カラー正面上半身脱帽 縦4cm×横3cm。

連絡先には、至急連絡がとれる電話番号（携帯電話番号等）を記入すること。面接該当者には、連絡日に連絡先へ電話をする。

前学期において、本特設講座科目等履修生となっている者が後学期も出願する場合、改めて所定の手続き（志望理由書等の出願書類提出）が必要となる。

注3) 前年度において、本特設講座科目等履修生となっているものは不要。ただし、変更があった場合は提出すること。また、卒業後改姓があった場合は、戸籍抄本（謄本）を添付すること。

注4) 現職者で、過去一年以内に健康診断を受けている場合は、「健康診断書」の提出は不要。

注5) 本学の書式に沿って各受講科目につき600字程度。開講授業科目一覧を熟読し、その内容を盛り込んで、あなたの学びたいことを科目ごとに具体的に記述すること。

注6) 出願前に検定料を納入し、その納入済票（振込請求書兼受領証）を入学願書裏面に貼付すること。ただし、前学期特設講座科目等履修生が後学期出願する場合、新たな検定料は不要とする。

注7) 提出した書類は返還しない。

## 5. 選考方法

合否については、次のことがらを考慮して選考します。

- ◇ 現職の保育者を優先します。(保育所等に勤務する保育士・幼稚園に勤務する教諭)
- ◇ 同一組織・機関の受講者は人数を限定します。
- ◇ 提出していただいた志望理由書をもとに評価します。
- ◇ 継続履修者については、過去の本講座の受講履歴、出席状況等も参考にします。
- ◇ 過去に受講放棄した者、出願書類(志望理由書)に不備があった者には、面接を行います。

※面接該当者のみに、連絡日に電話連絡をします。

面接該当者への連絡 8月 5日(水)、 面接日 8月 7日(金) 夕方

## 6. 合否発表

◇ 平成21年 9月 9日(水)頃

- ※ 出願書類(連絡先)の住所に発送します。
- ※ 電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

## 7. 履修手続き

受講が認められた者には、履修生登録の手続きの書類を送付しますので、下記指定の期日内に登録料及び授業料をお支払いください。 【期限厳守】

登録料(年額) 2,000 円

授業料

区 分	授 業 料
1学期6単位未満の履修者	1単位につき 10,000円
1学期6単位以上の履修者	1学期 60,000円

- ※ 各自、履修する単位に留意して、上記受講料の基準に沿ってお支払いください。
- ※ 所定の授業料は手続き期間中に指定する金融機関の口座に振り込んでいただきます。
- ※ 授業料は、前学期・後学期分納となります。  
(前学期履修中で後学期も受講希望の方は、後学期の受講料のみを納入ください。)
- ※ 合格後、入学を辞退する場合又は科目履修を取り下げの場合は、入学辞退届(科目履修の取下げの場合は、科目履修取下げ願)を教務チーム教務係へ提出して下さい(様式は任意)。

### (入学手続期間)

◇ 平成21年10月 1日(水) ~ 平成20年10月10日(金)

入学を許可された受講生は、この期間内に手続きを行えば、手続きが授業初日より後になっても受講できます。

### 8. 注意事項

- ◇ 本講座は、保育士資格取得及び教育職員免許状取得を目的としたものではありません。
- ◇ 一度、納付された検定料、登録料、授業料は返還しません。なお、前学期特設講座科目等履修生が後学期出願する場合、新たな検定料・登録料は不要です。
- ◇ 出願書類提出後の履修科目の変更は認められません。
- ◇ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ◇ 特設講座以外の本学学部の授業科目の履修を希望する場合は、別途手続きが必要となりますので、教務チーム(03-5978-2722)へお問い合わせください。  
費用は以下の通りです。(予定額であり、改定する場合があります。)
  - 検定料 9,800円 登録料 2,000円 1単位-授業料 14,400円
- ◇ 8/13~17、土・日曜日、祝日は、事務の受付は行なっておりません。

### 9. 問い合わせ先

○アプリカ特設講座 チャイルド ケア アンド エデュケーション  
科目等履修生に関するお問い合わせ

**お茶の水女子大学 教務チーム教務係**

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL 03-5978-2723

(平日 8:30~17:15)

※8/13~17、土・日曜日、祝日は、事務の受付は行なっておりません。

○特設講座以外の本学学部の授業科目の履修に関するお問い合わせ

**お茶の水女子大学 教務チーム教務係**

TEL 03-5978-2722

### Ⅲ. 開講授業科目一覧

【学 期】 後学期 10月～3月 授業開始日 10月 1日（水）から

【授業時間帯】 ◇月曜日～金曜日 夜間開設 11・12 時限  
◇集 中 1 ～10 時限  
(日程は、科目ごとに示すとおり)

9 : 0 0 ～1 0 : 3 0 ( 1 ・ 2 時限)  
1 0 : 4 0 ～1 2 : 1 0 ( 3 ・ 4 時限)  
1 3 : 2 0 ～1 4 : 5 0 ( 5 ・ 6 時限)  
1 5 : 0 0 ～1 6 : 3 0 ( 7 ・ 8 時限)  
1 6 : 4 0 ～1 8 : 1 0 ( 9 ・ 1 0時限)  
1 8 : 2 0 ～1 9 : 5 0 (1 1 ・ 1 2時限)

- ◇ 2単位の科目は原則として90分講義15回で構成
- ◇ 1単位の科目は原則として90分講義7回、45分講義1回で構成

【後 学 期 開 講 授 業】 ●は幼稚園一種免許状認定公開講座としても開講します。

○障害児保育教育論Ⅱ 後学期 2単位 月曜日 11・12時限  
担当：長谷川 武弘

本科目は、特別支援教育をキーワードに授業を進める。前半はこれまでの障害児教育（特殊教育）が歩んできた歴史を説明し、障害児教育が特殊教育から特別支援教育にかわる背景を概観する。後半は特別支援教育の考え方、実際の様子を講義と現場の先生の講演を聞くことを通して理解を深める。

●乳幼児行動の発達心理学 後学期 2単位 火曜日 11・12時限  
担当：安治 陽子

子どもの発達援助、保護者への子育て支援、さらには親子の関係性をつなぐような援助をすすめるうえでの発達の理解は重要である。発達心理学の理論的・実践的知見を紹介しながら子どもの心理発達について学びながら子育ての援助・支援について考える。

○乳幼児の発達と脳科学Ⅰ 後学期 2単位 水曜日 11・12時限  
担当：榊原 洋一

乳児がすでに複雑な脳機能を有し、周りの世界、他の人、そして自分自身について積極的に学習をしてゆくことが明らかになっている。こうした豊かな乳幼児の脳機能について最新の脳科学的知見について学びながら、保育の役割について考える。

## ○保育実践研究Ⅱ／Ⅳ \*

後学期 2単位 木曜日 11・12時限  
担当：講座専任教員

保育実践研究Ⅰ～Ⅳは、3人の専任教員が分担して担当します。  
この科目の履修希望者は、担当者の名前を明記して志望理由書を書いてください。  
また、この科目は通年履修を前提とします。

(大戸担当分)

保育実践の質の向上を目指して、それぞれの現場が抱える課題を選び、課題解決の方法を検討し、年間通して各園の課題解決の方法を実践し、その過程を「ドキュメンテーション」にまとめる。保育所関係者は、『保育所における質の向上のためのアクションプログラム』に示されている事項から課題を選んでもよい。また、幼稚園関係者は、「家庭との連携のあり方」、「園の評価基準の設定」等、幼稚園に求められている今日的課題から選ぶことが望ましい。

保育の現場を持ち、またデジタルカメラやパソコンの操作ができる方の受講を望む。

(榊原担当分)

どの園にもいる、いわゆる「気になる子どもたち」とは何か、その特徴について基礎的な知識を身につける。さらに、気になる子どもたちへの対応の仕方や、保護者との協力体制の作り方などについて、学ぶ。

続いて受講者の経験した事例について現場でのドキュメンテーションや、保育上の課題についての実態調査、課題への対応策の検討を通じて、研究内容を実践に生かす道を探る。

(長谷川担当分)

長谷川が担当する保育実践研究では、子どもに対する疑問や保育場面における疑問を、心理学の研究法を拠り所に実験研究や調査研究を行い掘り下げていく。授業はすべてディスカッションを中心としたゼミ形式で行い、必要に応じて講義も行いながら進める。

I／ⅢとⅡ／Ⅳはそれぞれ同時に開講するが、Ⅰ・Ⅱでは、前半ではその基礎となる心理学の研究法について講義を中心に学び、後半では研究テーマの絞り込みとプランニングを行う。特に後半では、各自が持っている疑問・興味に基づいた研究テーマが見つけれられるよう、関連する文献の読みすすめを通して焦点を絞り込み、具体的に心理学の研究法に則った研究として組み立てていくことができるよう指導する。研究プランができ次第、実際の調査・実験に着手し、得られたデータの解析・検討を行う。実験の予行練習や予備実験、予備調査なども必要に応じて行っていく。取り扱うことが可能なテーマとしては、保育場面や子育てに関する質問紙を用いた調査研究や子どもの認知機構を調べるような実験研究、大人を対象にした脳波を用いた脳機能研究などがある。

Ⅲ・Ⅳでは同時平行で開かれるⅠの心理学の研究法について確認をしながら、これまで行った研究に関連する文献を検索し読みすすめる。これまでに行った研究を継続してデータ収集・解析も行う。また、後半ではこれまで行ってきた研究を、簡単な論文の形になるようまとめの作業を中心に進めていく。

(保育実践研究Ⅲ、Ⅳは、Ⅰ、Ⅱを受講していることが前提となる)

## ○比較保育学Ⅰ

後学期 2単位 金曜日 11・12時限  
担当：大戸 美也子

3歳未満児の学習のあり方について、世界7カ国の比較研究を通して検討する。テキストとして Ingrid Pramling-Samuelsson and Marilyn Flear eds. *Play and Learning in Early Childhood Setting: International Perspectives*, Springer 2008 を使用予定。

## ●幼児理解とその方法Ⅱ

後学期（集中） 1単位 10/31、11/14、11/28 土曜日 3日間

担当：内田 伸子・大戸 美也子・刑部 育子・柴坂 寿子・浜口 順子

幼児の行為をVTRや写真等、ヴィジュアルなツールを通して観察し、行為の意味や成長のストーリーを読み解く演習をオムニバス方式でおこなう。個人的に理解を深めると同時に、グループで情報を共有し、またプレゼンテーションを通して、子ども理解の視点と子ども理解の方法の多様性を理解する。

## ○現代育児論Ⅰ

後学期（集中） 2単位 2/6、2/13、2/20 土曜日3日間 1～10時限

担当：汐見 稔幸・大日向 雅美・小西 行郎

少子化、長時間保育の普及、そして認定子ども園に集約される幼保一元化の動きなど、保育、幼児教育の現場には大きな変動と混乱がもたらされている。保育、幼児教育界で活躍する3人の講師が、乳児発達、育児支援、保育コミュニケーション論などに鋭く切り込んだ講義を展開する。（「絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ」と同日開講する日があるため、本科目を履修する場合「絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ」の履修はできません）

## ○絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ

後学期（集中） 2単位 1/30、2/13、3/6 土曜日3日間 1～10時限

担当：多田 千尋

おもちゃとのかかわりを通じて子どもは発達してゆく。本講座では、日本のみならず世界中のおもちゃと触れ合うだけでなく、おもちゃの製作やおもちゃを介した子どもとの遊びを通じて、おもちゃの意味をさぐる。東京おもちゃ美術館（四谷）での実習を含む。（「現代育児論Ⅰ」と同日開講する日があるため、本科目を履修する場合「現代育児論Ⅰ」の履修はできません）

### 【履修上の注意点】

1. \*は実習（ゼミ）形式、\*\*は演習形式、これら以外は講義形式での開講となります。
2. 「幼児理解とその方法Ⅱ」、「現代育児論Ⅰ」、「絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ」、の各科目は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのどれからでも履修可能です。
3. 「保育実践研究」、「障害児保育教育論」の各科目は一年を通しての履修（通年）を前提とします（Ⅰのみ、Ⅱのみ、Ⅲのみ、Ⅳのみの履修は原則として認めません）。
4. 「保育実践研究Ⅲ、Ⅳ」の履修は、Ⅰ、Ⅱを履修していることを条件としています。
5. 「現代育児論Ⅰ」と「絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ」はそれぞれ同日開講する日があるため、二科目のうちどちらか一科目しか受講できません。
6. 一度履修した科目は、原則として毎年の授業内容が同じであるため、単位取得が出来なかった場合を除き、2回目以降の履修はできません。

### 【連絡事項】

1. 教科書・参考書・参考資料等については、それぞれ別途指示します。

## 平成 21 年度 時 間 割

### 後 学 期 (11・12 限 18:20~19:50)

開 催 日	題 目	講 師
月	障害児保育教育論Ⅱ	長 谷 川
火	乳幼児行動の発達心理学	安 治
水	乳幼児の発達と脳科学Ⅰ	榊 原
木	保育実践研究Ⅱ/Ⅳ	講座専任教員
金	比較保育学Ⅰ	大 戸

### 集 中 (後学期) (土曜 3 回 ①10/31 ②11/14 ③11/28 5~10 限 13:20~18:10)

土 曜 日 3 日 間	①10/31 5~9 限	幼児理解とその方法Ⅱ	大戸・内田
	②11/14 5~10 限		刑部・柴坂・浜口
	③11/28 5~8 限		大戸

### 春 期 集 中 (後学期) (土曜 3 回 1~10 限 9:00~18:10)

土 曜 日 3 日 間	①2/6	現代育児論Ⅰ	大 日 向
	②2/13		小 西
	③2/20		汐 見
土 曜 日 3 日 間	①1/30	絵本・おもちゃ・メディア研究Ⅲ	多 田
	②2/13		
	③3/6		